



## 2022年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月3日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東  
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古塚 孝志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 新部 雅彦 TEL 078-435-2800  
 四半期報告書提出予定日 2022年3月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年4月期第3四半期の連結業績（2021年5月1日～2022年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第3四半期	35,979	9.2	2,015	115.9	2,042	86.5	1,371	53.3
2021年4月期第3四半期	32,934	△16.0	933	△44.3	1,095	△36.3	894	△19.5

(注) 包括利益 2022年4月期第3四半期1,391百万円 (54.5%) 2021年4月期第3四半期901百万円 (△18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第3四半期	51.58	—
2021年4月期第3四半期	33.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年4月期第3四半期	35,274	29,058	82.4	1,092.85
2021年4月期	35,318	28,187	79.8	1,060.38

(参考) 自己資本 2022年4月期第3四半期 29,058百万円 2021年4月期 28,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2022年4月期	—	9.00	—		
2022年4月期（予想）				11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年4月期の連結業績予想（2021年5月1日～2022年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,556	6.4	1,827	64.9	1,856	46.0	1,235	6.0	46.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年4月期3Q	26,788,748株	2021年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	2022年4月期3Q	198,819株	2021年4月期	205,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年4月期3Q	26,587,138株	2021年4月期3Q	26,580,043株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年5月1日～2022年1月31日）におけるわが国経済は、2021年10月の緊急事態宣言等の全面解除や各種政策の効果などを背景に、景気は持ち直しの動きが見られましたが、1月以降、新型コロナウイルスの変異ウイルス「オミクロン株」への感染拡大により多くの地域でまん延防止等重点措置が実施されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

中食・惣菜業界におきましては、テイクアウトやフードデリバリー、オンラインショップ等の需要の定着により業態の垣根を越えた競争が激化し、多様化するニーズに対して柔軟な対応が求められるとともに、原材料や原油等の価格高騰により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「The Mirai Salad Company」として、健康で豊かな食卓提案を通してお客様の豊かなライフスタイルの創造に貢献するために、より高品質で季節感あふれるサラダを一層進化させるとともに、これまで培ってきた調理技術を活かした料理・冷凍食品の強化に取り組んでまいりました。また、会員サイト「ロック・フィールドメンバーズ」においては、WEB予約商品の拡充やオンラインショップの利便性の向上によって、クリスマス・年末年始商品の予約・購入が伸びた結果、会員数は約28,000名と前年同時期と比べて2倍以上に増加いたしました。

併せて、2021年10月、神戸ヘッドオフィス／ファクトリーで使用するガスをカーボンニュートラルLNGに、玉川ファクトリーで使用する電力を再生可能エネルギー等に由来する環境対応型電力に切り替えるなど、エネルギーの脱炭素化をはじめとする持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は35,979百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は2,015百万円（前年同期比115.9%増）、経常利益は2,042百万円（前年同期比86.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,371百万円（前年同期比53.3%増）となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		2021年4月期 第3四半期（連結）		2022年4月期 第3四半期（連結）		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
RF1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	11,447	34.8	12,533	34.8	109.5
	フライ	4,044	12.3	4,063	11.3	100.5
	その他そうざい	5,311	16.1	5,888	16.4	110.9
	小計	20,802	63.2	22,485	62.5	108.1
グリーン・グルメ		6,258	19.0	7,018	19.5	112.1
いとはん		2,304	7.0	2,464	6.8	106.9
神戸コロッケ		1,790	5.4	1,888	5.2	105.5
融合		664	2.0	740	2.1	111.5
ベジテリア		588	1.8	557	1.6	94.6
その他		525	1.6	825	2.3	156.9
合計		32,934	100.0	35,979	100.0	109.2

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて44百万円減少し、35,274百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加291百万円、売掛金の増加467百万円、有形固定資産の減少472百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて914百万円減少し、6,215百万円となりました。これは主に、買掛金の減少245百万円、賞与引当金の減少258百万円、長期借入金の減少405百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて870百万円増加し、29,058百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加1,371百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少531百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は82.4%、1株当たり純資産額は1,092円85銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月期の業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績および最近の業績動向を踏まえ、2021年9月3日に公表いたしました業績予想の修正をおこなっております。詳細につきましては、本日(2022年3月3日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,418	13,709
売掛金	3,506	3,973
製品	58	52
仕掛品	108	98
原材料及び貯蔵品	571	505
その他	443	217
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	18,103	18,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,959	9,673
土地	2,948	2,948
その他(純額)	2,549	2,362
有形固定資産合計	15,457	14,984
無形固定資産		
その他	168	235
無形固定資産合計	168	235
投資その他の資産		
その他	1,612	1,524
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,589	1,501
固定資産合計	17,214	16,721
資産合計	35,318	35,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,091	846
1年内返済予定の長期借入金	540	540
未払法人税等	479	397
賞与引当金	635	376
その他	2,405	2,491
流動負債合計	5,152	4,652
固定負債		
長期借入金	1,580	1,175
その他	397	387
固定負債合計	1,977	1,562
負債合計	7,130	6,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,874	5,878
利益剰余金	16,840	17,679
自己株式	△190	△183
株主資本合計	28,068	28,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	76
為替換算調整勘定	56	63
その他の包括利益累計額合計	119	140
純資産合計	28,187	29,058
負債純資産合計	35,318	35,274

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
売上高	32,934	35,979
売上原価	13,782	15,042
売上総利益	19,151	20,936
販売費及び一般管理費	18,218	18,921
営業利益	933	2,015
営業外収益		
受取配当金	8	9
保険配当金	15	11
雇用調整助成金	127	—
その他	24	18
営業外収益合計	175	38
営業外費用		
支払利息	8	6
為替差損	1	1
固定資産売却損	2	—
解約違約金	—	1
その他	2	1
営業外費用合計	13	11
経常利益	1,095	2,042
特別利益		
補助金収入	169	—
特別利益合計	169	—
特別損失		
減損損失	23	—
特別損失合計	23	—
税金等調整前四半期純利益	1,240	2,042
法人税等	346	670
四半期純利益	894	1,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	894	1,371



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益	894	1,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	13
為替換算調整勘定	4	7
その他の包括利益合計	6	20
四半期包括利益	901	1,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	901	1,391
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来販売費及び一般管理費として計上しておりました他社ポイント負担金については、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費についてはそれぞれ16百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りに用いた仮定について重要な変更はありません。